

クマとの事故を防ぐために

栃木県にはツキノワグマがすんでいます。
普段はおとなしい動物ですが、時には人が襲われることもあります。
私たちが気を付ければ、多くの事故を防ぐことができます。



クマと近い距離で出会わないことが最も大切！

クマに襲われないためには、クマと近くでばったり出会わないようにすることが最も大切です。

- クマがいそうな場所に行かない
- 早朝や夕方は特に注意
- 一人での行動は避けよう
- 音を出しながら歩こう



クマのフンや足跡を見つけたら、近くにクマがいるかもしれない。



クマがいそうな場所や、やぶで見通しの悪い場所では、鈴やホイッスルを鳴らそう。

もしもクマに出会ったら…

クマが人を襲う理由の多くは、自分の身や子グマを守るためなので、クマを刺激しないことが大切です。

- 静かにゆっくりとクマから離れる
- クマに背中を向けない、走って逃げない
- グループで固まる
- 子グマには絶対に近付かない

ツキノワグマの特徴

- おくびょう臆病でおとなしい
- きゅうかく嗅覚がすごい
- 木登りがうまい
- 人より足が速い
- 食べ物のほとんどは植物の実や芽、葉。ハチやアリ、死んだシカなども食べる。
- 体重はおとなのオスで80kg程度、メスで60kg程度。

120~140cm程度



【足跡】



サルに注意!

かまれたり、
ひっかかれたりします

サルにかまれる等の被害が
多く発生しています。

そこで次のことにご注意ください。



1. サルにエサをあげない。サルにエサを見せない。

サルにかまれる等の被害が発生するようになったのは、サルが人をこわがらなくなったというのが原因とされます。

サルにエサをあげようとしてかまれたり、エサとなるような食べ物を見せるとサルがそれを奪おうとしてひっかかれたりという事例があります。

2. 袋を下げで歩かない。

サルは手さげ袋の中に食べ物が入っていると学習しており、袋を下げているとそれを奪おうとすることがありますので、できるだけリュック等にしまうなどしてください。

3. サルと目を合わせない。サルに話しかけない。

サルと目を合わせると、サルが威かくしてきたり、飛びかかってきたりする危険性があります。

サルは言葉がわかりません。話しかけると、威かくされたと認識されます。

4. 女性や子供は特にご注意ください。

被害にあわれている方の大半は女性か子供です。大人の男性と一緒にいると比較的安全です。しかし万全ではありません。

サルにえさを あたえないでください

日光市では、サルにえさを与えることを条例で**禁止**しています。
平成12(2000)年4月1日から施行されました。

野生のサルにえさをあたえると、楽にえさをもらうことになってしまい、
さらに人の食べ物の味を覚えてしまい、自然の中でえさをとることを忘れ、
自然の中で生きられなくなってしまいます。

自然の中でえさをとることを忘れてしまったサルは、人に食べ物をねだったり、
ときには人の食べ物を奪ったりするようになります。

かわいいサルがかわいいままでいられるようにするためにも、
サルにえさをあたえないようにしてください。



日光市